

スズメノカタビラに勝つ。

高品質・高収量の小麦に。



後作物への影響

水稲、大麦、ソルガムに薬害を生じるおそれがあるため、散布した当年または翌年の栽培をさけてください。
また、春播き小麦収穫後のイネ科後作緑肥の栽培は避けてください。

水稲、大麦、ソルガムの輪作可否

春播き小麦にキタシーブを使用した場合					
当 年	×	翌 年	×	翌々 年	○

秋播き小麦にキタシーブを使用した場合			
翌 年	×	翌々 年	○

キタシーフ® フロアブル

有効成分：ジフルフェニカン.....7.4%

ピロキサスルホン.....7.4%

人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

スズメノカタビラに 勝つ!

繁茂すると小麦に大きな減収を引き起こすスズメノカタビラ。キタシーフフロアブルはスズメノカタビラをしっかり除草します。



他にも厄介な雑草に効果あり!

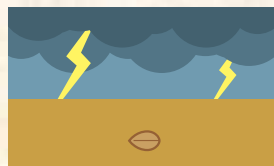


上手な使い方

砕土や整地はていねいに、
覆土深は2~3cmに



散布後に強い降雨が予想
される場合は使用をさける



砂質土壌など水はけのよい畑では
登録の範囲で少なめの薬量を散布



※薬害が心配される場合は麦出芽揃い以降(3葉期まで)の散布をおすすめします

小麦の生長ステージと散布時期



適用雑草及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用薬量		本剤の 使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
小麦	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	80~100mℓ	通常散布：50~100ℓ 少量散布：25~50ℓ	1回*	雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布
		出芽後~小麦3葉期 (雑草発生前~イネ科雑草1葉期)		50~100ℓ		

*各有効成分を含む農薬の総使用回数：ジフルフェニカン1回、ピロキサスルホン1回

⚠ 使用上の注意(抜粋)

- 使用量に合わせて薬液を調整し、使いきってください。
- 使用の際は容器をよく振って均一な状態にして使用してください。また、希釈の際は所定量の水に加えてから十分攪拌してください。
- 雑草の発生前から発生始期まで有効なので、時期を失しないように散布してください。
- 砂土では使用しないでください。
- 少量散布(25~50ℓ/10a)の場合は専用ノズルを使用し、土壌の全面又は雑草の葉面に均一に散布してください。
- 土壌残効が長いので、秋播栽培で使用する場合は、年内中に散布を終えてください。
- 散布直後の多量の降雨は薬害のおそれがあるので、激しい降雨の予想される場合は使用をさけてください。
- 土壌が極端に乾燥している場合には除草効果が劣ることがありますので、土壌が適度の水分を含んでいるときに使用してください。
- 有機物の多い土壌や粘土質の土壌では所定量の範囲内で多めの薬量を散布してください。
- 砂質で水はけのよい畑では薬害を生じるおそれがあるので、所定量の範囲内で少なめの薬量を散布してください。
- 水田裏作の小麦に使用する場合、排水不良田等土壌が湿りすぎていると砕土や覆土が不十分となり効果むらや薬害の原因となることがありますので、過湿状態での使用はさけてください。

- 砕土や整地はていねいに行い、種子が露出しないよう覆土はできるだけ均一、覆土深を2~3cmとしてください。
- 本剤の使用により小麦の葉身に白化が見られることがありますが、その後出てくる葉には白化は認められず回復し、小麦の生育、収量には影響が認められていません。
- 散布薬液の飛散によって有用植物に薬害を生じるおそれがあるので、散布の際には隣接作物にかからないように注意してください。特に風の強い時の使用はさけてください。
- 水稲、大麦、ソルガムに薬害を生じるおそれがあるため、散布した当年または翌年の栽培をさけてください。
- 散布に使った器具類はよく水洗いして、他の用途に使用する時は影響のないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

詳しい使い方、
登録内容とSDSは
こちらから。



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2025年6月現在の知見に基づき作成しています。 2505(25-6)